

# 令和元年第39回定例公安委員会会議録

開催日時 令和元年12月19日(木) 午前11時15分～午後2時45分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時15分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 津田警察本部長 伊貝警務部長 谷村首席監察官  
長谷高生活安全部長 松岡刑事部長 柳清交通部長  
牧田警備部長 竹森警察学校長 妹尾情報通信部長  
樋口警務部参事官

(事務局等～中嶋公安委員会補佐室長、畔田広報官、中田補佐)

3 議題事項

- 交通規制の議決(第4期)(交通部)
- 警察職員等に対する援助要求(警備部)

(1) 交通規制の議決(第4期)(交通部)

### 警察本部

第4期の交通規制の議決は、49か所、70区間である。

概要は、未就学児対策に伴うものでは、未就学児が日常的に集団で移動する経路対策に伴う横断歩道の新設等を13か所行う。通学路対策に伴うものでは、通学路点検等に伴う横断歩道の新設等を4か所行う。道路改良等に伴うものでは、駐車場整備に伴う横断歩道の新設等を9か所、2区間行う。既存道路の安全対策に伴うものでは、要望等を踏まえた既存道路に対する一時停止の設置等の安全対策を5か所、20区間行う。規制の点検に伴うものでは、交通環境の変化に伴う車両通行帯等の新設等を17か所、36区間行う。路線名変更等に伴うものは、

1か所、12区間行う。

先般実施された、未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通安全の確保に向けた緊急点検の結果、警察の対応を要する要望は59件あり、可能な限り対応を進めているところであるが、検討を要する案件もあるため、来年度以降も引き続き対応していく。

#### 委員

事前に説明を受けており、このとおり決裁する。

### (2) 警察職員等に対する援助要求（警備部）

#### 警察本部

福井県公安委員会より、原子力関連施設のテロ警戒警備に万全を期すため、援助の要求があった。援助を必要とする場所は、福井県内の原子力関連施設の警戒警備に必要な区域である。

#### 委員

事前に説明を受けており、このとおり受諾する。寒い時期であるため、任務に当たる職員は、体調管理に留意していただきたい。

## 4 報告事項

- 警察音楽隊「第18回ふれあいコンサート」の開催結果（警務部）
- 大会報告（警務部）
- 株式会社ソルコム鳥取支店による「ながら見守り」活動出発式の開催（生活安全部）
- 1月中の入校及び行事概況等（警察学校）
- 令和2年における鳥取県情報通信部業務運営の基本指針（情報通信部）

### (1) 警察音楽隊「第18回ふれあいコンサート」の開催結果（警務部）

#### 警察本部

12月14日、米子市公会堂において、第18回ふれあいコンサートを開催した。

このコンサートは、県民と警察をつなぐ音の架け橋として、演奏を通じて広く警察広報を行うことを目的としており、平成12年から年1回、東部・中部・西部と順番に開催している。

当日の観客は約800人であり、今回は、鳥取県警察音楽隊のほか、山陰少年少女合唱団リトルフェニックス、吹奏楽団ウインド・サウンズ・サークル（鳥取

県職員の有志による吹奏楽バンド)にも出演していただいた。

第1部オープニングステージでは、警察音楽隊によるマーチングステージ及び山陰少年少女合唱団リトルフェニックスによる合唱ステージを行った。第2部吹奏楽ステージでは、警察音楽隊による吹奏楽単独演奏に加え、吹奏楽団ウインド・サウンズ・サークル及び山陰少年少女合唱団リトルフェニックスとの合同ステージのほか、米子警察署による交通安全広報も行った。アンコール・フィナーレでは、「みんなで歌おう！メドレー～クリスマス童謡編」を演奏した後、「ふるさと」を会場の皆さんと合唱した。

会場に来られた方にアンケートを行ったところ、「警察は怖いというイメージがあったが、素敵な方ばかりでイメージが変わった。」、「素晴らしいコンサートだった。」などの感想があった。そのほかの意見、要望等については、来年度以降の参考とする。

なお、来年度は、鳥取県警察音楽隊発足40周年を記念して、東部で開催予定である。

#### 委員

コンサートが盛況で良かった。アンケート結果から、好評であったことが分かる。このような機会を通して、警察に対するイメージが良いものになる県民もいる。警察の活動を理解していただき、イメージを覆すことは大切である。

## (2) 大会報告 (警務部)

### 警察本部

12月6日、警察学校において、令和元年度鳥取県警察拳銃射撃競技大会を開催した。

競技の結果、団体の部A組(本部A、本部B、警察学校、鳥取警察署、倉吉警察署及び米子警察署の計6チーム)は、優勝・本部B、準優勝・鳥取警察署、3位・警察学校であった。団体の部B組(機動隊、郡家警察署、智頭警察署、浜村警察署、琴浦大山警察署、境港警察署及び黒坂警察署の計7チーム)は、優勝・浜村警察署、準優勝・琴浦大山警察署、3位・黒坂警察署であった。個人競技では、上級の部は、優勝・本部Aの警察官、準優勝・本部Bの警察官であった。一般の部は、優勝、準優勝とも警察学校の学生であった。女子の部は、優勝・警察学校の学生、準優勝・倉吉警察署の警察官であった。

#### 委員

引き続き、訓練を重ね、精度を高めていただきたい。

#### 委員

警察学校の学生が頑張っていると思う。学生のモチベーションを更に向上させ

るためにも、この結果について、教官から一言、声を掛けていただきたい。

#### 警察本部

承知した。今回の結果は、学生が訓練を頑張った成果だと思う。

### (3) 株式会社ソルコム鳥取支店による「ながら見守り」活動出発式の開催（生活安全部）

#### 警察本部

株式会社ソルコム鳥取支店が社会貢献活動の取り組みの一環として、社用車運行中における「ながら見守り（企業によるCSR活動の一環として、事業者が日常の事業活動を行いながら、子供の見守りを行うもの）」による子供の見守り活動等を開始するに当たり、12月11日、警察本部において、社員に対する研修や車両の出発式を行った。

株式会社ソルコムからは、支店長以下14人に出席していただき、実際に活動する社員に対する研修、車両に貼付するステッカーの披露、社員による決意表明等を行った。

#### 委員

とても良い活動だと思う。社会全体で子どもを見守ることが必要なので、このような活動が更に広がると良いと思う。

#### 委員

活動範囲は鳥取市内のみか。

#### 警察本部

鳥取市と米子市に事務所がある会社であり、県内全体を運行されるため、特定の警察署ではなく、警察本部において出発式を開催した。

#### 委員

可能な範囲で警察と民間が連携できれば良いと思う。引き続き、子どもの見守りに対する取組をよろしく願います。

### (4) 1月中の入校及び行事概況等（警察学校）

#### 警察本部

来年1月中は、現在入校中の初任科第90期に対する採用時教養を引き続き行うほか、初任補修科第37期が入校する。また、刑事任用科など3つの部門別任用科と1つの専科が入校する。

初任科生の行事関係は、柔道・剣道昇段審査のほか、大山において、冬山遭難救助等訓練を実施する。これは、冬季における山岳遭難者の迅速な捜索や救助活動、登山道等の危険箇所を把握することを目的として実施するものであり、警察本部地域課、琴浦大山警察署等に協力いただき、基礎知識の教養、装備品の着脱訓練も実施する。

初任補修科生は、来年1月から約2か月間入校する。1月中は、鑑識技能検定、逮捕術検定、捜査書類検定等を予定している。

11月、12月中は、社会教育の一環として、航空自衛隊及び海上保安庁で研修を行ったほか、拳銃操法検定を実施した。

#### 委員

現場に出れば、冬山の山岳遭難事案に対応することもあると思う。気を付けて訓練を行っていただきたい。

#### 委員

天候が悪い場合は延期するのか。

#### 警察本部

天候も含めての訓練であるので、安全面等を考慮した上で検討する。

#### 委員

繰り返しになるが、安全面には十分配慮していただきたい。

### (5) 令和2年における鳥取県情報通信部業務運営の基本指針（情報通信部）

#### 警察本部

鳥取県情報通信部では、警察庁情報通信局通達を踏まえ、業務運営の基本指針を決定した。

情報通信部最重点業務は、「IPR形警察移動無線通信システムの着実かつ円滑な整備」、「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会における諸対策の完遂」の2項目とした。さらに、「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会における諸対策の完遂」では小項目として、「県内聖火リレー警備実施における県警察と連携した通信対策」、「人員及び資機材の他所属への支援を念頭に置いた突発事案対応」及び「サイバー攻撃事案発生に備えた対処体制の構築」の3項目を設定した。

そのほかの基本指針は、「更なる組織力の発揮と体制の充実」、「機動警察通信隊の活動強化」、「時代の変化に対応する警察情報通信基盤の確立」及び「高度化・多様化するサイバー空間の脅威への対応の強化」とした。

これらの基本指針を踏まえ、情報通信部一丸となって業務を推進していく。

## 委員

通信インフラは、警察活動を行う上で必要不可欠である。引き続き、よろしく  
願います。公安委員会としても、各システムの整備過程等で視察を行いたいと  
考えている。

## 5 その他

### 委員

本年は、G20大阪サミットの開催に伴って本県からも多くの職員を派遣した  
ほか、第30回全国「みどりの愛護」のつどい開催に伴って県内で大規模な警衛  
警備を行うなど、多くの行事があった。県内では、交通死亡事故件数が大きく増  
加したが、全体的には日頃の県警察の頑張りが伝わってきた。

先日、警察署協議会の方の意見を聞いたが、地域住民の方は、特に地域警察官  
を頼りにされており、住民と警察との信頼関係が構築できていると感じ、公安委  
員としても嬉しく思った。

来年は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会という大きな  
行事が控えているが、大会に向けた対策の総仕上げに当たるなど、引き続き、県  
民のための活動をよろしく願います。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処  
分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞3件について、事案概要、処分理由、  
当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 3 事前説明

警察職員等に対する援助要求

### 4 報告事項

- ・ 審査請求に係る答申書の受理
- ・ 特定秘密の保護措置及び適正評価の実施

## 5 決裁

- ・ 交通規制の議決（第4期）
- ・ 行政処分関係（運転免許課）
- ・ 警察職員等に対する援助要求

## 6 警察本部との昼食会

警察本部との昼食会に、本部長、警務部長、生活安全部長の出席を求め、意見交換を行った。

## 7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

## 8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。